

友の会だより

No.59
2019.10

茨城県陶芸美術館友の会

展覧会
案内

いきもの狂騒曲 — 陶芸フィギュアの現在 —

11月13日(水)
県民の日は
入場無料

会期：2019年9月7日(土)～11月24日(日)

休館日：毎週月曜日〔ただし、9月16日(月)/祝・
9月23日(月)/祝・10月14日(月)/祝・11月4
日(月)は開館。〕9月24日(火)・10月15日(火)

主催：茨城県陶芸美術館

観覧料：一般720(570)円・満70歳以上360(280)円・高大生510
(410)円・小中生260(210)円

※()内は20名以上の団体料金。身体障害者手帳、療育
手帳、精神障害者保健福祉手帳または指定難病特定医療
費受給者証をお持ちの方および付き添いの方〔ただし1
人につき1人まで〕は無料。土曜日は高校生以下無料。

日本において、人や動物などいきものをモチーフにした陶芸作品は、さまざまな時代に祈りや愛玩の対象としてつくられ続けてきました。そして、2000年前後になると、陶芸の世界に新しいスタイルの表現が次々と現れ始める中、人や動物などのいきものを題材とした「フィギュア」と称すべき作品が登場しました。作家自身が愛着や興味のあるいきものをモチーフに選び、モチーフが持つ魅力と陶芸ならではの表現の魅力とを、いかに融合させるかという課題に真正面から向き合うことで生まれた陶芸フィギュアは、単純なりアルさや可愛らしさだけではない強烈な存在感を放っています。

本展では、陶芸作家17名に、ガラス、華工芸、金工の作家4名を加えた、21名の作品により、現在盛り上がりを見せている、陶芸におけるフィギュアの魅力を紹介します。



今井完眞 シーラカンス
2018年 個人蔵



奥村巴菜 ゾウムシ様
2015年 個人蔵



北郷江 壺の中
2016年 個人蔵



吉島信広 白黒招き
2018年 個人蔵
撮影：Shinichiro Matsubara
©Nobuhiro Yoshijima



田嶋太郎 大猫神
2019年 個人蔵



根本裕子 瞑想の森—ゴジラ
2016年 個人蔵



堀貴春 White Trichogomphus
2018年 個人蔵

● 展覧会関連催事のご案内

* 詳細は、チラシや当館ホームページ等をご覧ください。

● ワークショップ「新聞紙で動物アート」(要予約)

新聞紙とセロハンテープを使って、動物をテーマにした作品をつくりま
す。

日 時：10月26日(土) 10:00～15:00

※昼食の休憩時間を1時間程度とります。昼食はご持参いた
るか、近隣のレストラン等をご利用ください。

会 場：当館1階 多目的ホール

講 師：畑岡佑輔氏(彫刻家)

対 象：中学生以上(保護者の同伴により小学校5・6年生の参加も可)

参加費：無料(展覧会をご覧いただく場合は、別途観覧料が必要となり
ます。)

定 員：20名

予 約：先着順(空きがある場合には当日参加もできます)

(電話0296-70-0011)

● 出品作家によるアーティストトーク(予約不要)

日 時：9月21日(土) 鈴木りんいち氏、田崎太郎氏

10月19日(土) 岡村悠紀氏、須藤忠隆氏

11月16日(土) 奥村巴菜氏、宮本果林氏

各日とも13:30から

※都合により講師が変更になる場合があります。

会 場：当館地下1階 企画展示室

参加費：無料(観覧料にてご聴講いただけます)

● ギャラリートーク(予約不要)

担当学芸員が展覧会をご案内いたします。

日 時：9月14日(土)、10月12日(土)、11月9日(土)

各日とも13:30から

会 場：当館地下1階 企画展示室

参加費：無料(観覧料にてご聴講いただけます)

茨城県陶芸美術館ホームページ <http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

彩色と線象嵌に魅せられて

菅原良子さんを訪ねて(8月21日)

笠間市笠間の陶芸大学校や美術館の近くに線象嵌や色泥彩紋の作品を手がける菅原良子さんを工房にお尋ねして焼き物との出会いやこれからのことをお聞きしました。



出身とお生まれは

茨城県日立市に生まれました。

焼き物に進まれた経緯をお聞かせ下さい

日立の企業で働いている時、陶芸教室のインストラクターの仕事との出会いがあり、3年ほど子供達に焼き物を教えておりました。

しかし、陶芸の道をもっと勉強したいと思うようになりました。笠間には粘土を求めて来る機会があり、その中で窯業指導所の存在を知り、窯業指導所に入り、ロクロ技術を勉強しました。修了後、3年程笠間で弟子の修行をしてから、半年間窯業指導所で釉薬の研修をし、1992年現在地に独立築窯いたしました。

線象嵌との出会いはその頃だったのですか

この研修～修業の頃、線象嵌(註)で文様を描きいろいろな色で彩色していく彩泥の仕事をしている作家の方が何人かいて、その技法と作品にとっても魅かれた事を覚えています。

独立した頃は、粉引をやったり、布目、上絵、焼締などいろいろな仕事をしましたが、やはり自分が一番魅かれたこの彩泥の仕事に落ち着き、20年以上たった今も続けております。半乾きの成形土に、その作品にマッチした文様を線象嵌で描き、細い筆で10種類以上の色をひと塗りひと塗り根気よく文様を塗りつぶしていく作業は、時を忘れるほど今でも楽しい時間です。

これからの抱負などは

このスタイルを継続しながら、多様多彩なデザインを考案していきたいと思っています。心に浮かぶ形を具象化し、少しでも美しい作品が作れたならと思っています

※註：模様を彫りその彫った部分に化粧を埋め込み、余分な部分を削ると彫った部分にだけ模様が入る、という技法。

プロフィール

- 1988年 茨城県窯業指導所(現・笠間陶芸大学校)ロクロ科研修生
- 1989-1991年 笠間で修業
- 1990, 1991年 茨城県芸術祭美術展入選
- 1991年 第1回日工会展入選
- 1992年 茨城県窯業指導所釉薬科研修生 独立築窯
- 1994年 第18回新日美展大賞
- 1996年 石岡香丸資料館個展 使ってみたい北の菓子器展入選
- 1999年 笠間芸術の森公園野外コンサート広場陶板レリーフ制作
- 2003年 水戸偕楽園御成門陶板レリーフ制作
- 2004年 ギャラリー曜燿個展
- 2005年 茨城県陶芸美術館 笠間芸術の森陶芸展「カサマソダチ」出品
- 2007年 第78回第一美術展入選
- 2011年 笠間工芸の丘個展 工芸ギャラリー 一草一花個展
- 2012年 東日本伝統工芸展入選



彩色陶管



彩色フリーカップ



彩色合子

ヨーロッパ磁器絵付け講座

友の会主催事業の絵付け講座を、講師マリア・テレサ・ルーディ横田先生をお迎えして、7月14日(日)、26日(金)に実施しました。今年度の題材は「キノコとベリー」、1日目は、柄全体に薄く色をつけ、後日1度目の焼成をしました。2日目は、色の濃淡に気をつけながら細部の仕上げをしました。参加された方々は、お手本の絵をじっと見つめ、一筆一筆丁寧に色を塗り重ねていました。マリア先生は、お一人お一人と気さくに会話されながら、ご指導をしてくださり、作品の進み具合を見ていらっしゃいました。完成した作品が、美術館ショップ前の友の会コーナーに展示されています。ぜひお立ち寄りのうえご覧になってください。



参加された皆様



館内の友の会コーナーに展示された作品

友の会からのお知らせ

呈茶会を開催！

日時：令和元年11月13日(水) 10:30～15:00
場所：茨城県陶芸美術館 地階 オープンギャラリー
席主：原田 勝子社中(表千家)

※当日は、「茨城県民の日」ですので、入館は無料となります。
※当日、10時より、オープンギャラリー(地階)で受付けます。定員は80名。
※どなたでも参加していただけます。当日、呈茶券(500円)を購入していただき、抹茶と茶菓子を楽しんでいただきます。



昨年度実施の様子

国内研修視察(お知らせ) 鹿児島～薩摩焼の発祥と伝統を訪ねる～

日時：令和元年12月1日(日)～3日(火) 2泊3日
場所：鹿児島県鹿児島市ほか
費用：98,500円(20名参加の場合)
※詳しくは、募集のちらしまたは美術館HPをご覧ください。

日帰り研修視察(お知らせ)

日時：令和2年3月8日(日)
場所：鎌倉方面(鎌倉文学館 鎌倉吉兆庵美術館)
費用：1万円程度

※詳しくは会報No.60(令和2年2月1日発行予定)でお知らせします。

編集委員募集(お知らせ)

年3回発行「友の会だより」を仲間と一緒に作ってみませんか。

《会報は、編集委員と事務局員によって次により作られます》

- 発刊内容の検討・協議(対談作家の決定)……………年度当初
- 対談作家訪問(全員)……………年3回(各回2時間程度)
- 原稿取りまとめ(内容・文面検討)……………メール等でやり取り

※友の会より実費相当の交通費が支払われます。



良い品をそろえてご来店をお待ちしています

友の会特約店のご紹介

アトリエ・フラスカ	0296-72-9322
笠間工芸の丘	0296-70-1313
●10月 9日(水)～10月20日(日)	小泉奈津美展 クラフトギャラリーⅠ
●10月 9日(水)～10月20日(日)	渡部源土作陶展 クラフトギャラリーⅡ
●10月22日(火)～11月 4日(月)	盛澄子彫金展 クラフトギャラリーⅠ
●10月22日(火)～11月 4日(日)	磯部祐介・町田裕也・福野道隆三人展 クラフトギャラリーⅡ
●11月 6日(水)～11月17日(日)	新井倫彦陶展～冬の夜のために～ クラフトギャラリーⅠ
●11月 6日(水)～11月17日(日)	季節を彩る器展 クラフトギャラリーⅡ
●11月19日(火)～12月 1日(日)	使って楽しい器展 クラフトギャラリーⅠ
●11月19日(火)～12月 1日(日)	しのめ窯作陶展 クラフトギャラリーⅡ
●12月 4日(水)～12月22日(日)	干支展 クラフトギャラリーⅠ
●1月 2日(木)～1月19日(日)	ひとにやさしい器展 クラフトギャラリーⅡ
●1月 2日(木)～1月13日(月)	宮本果林作陶展 クラフトギャラリーⅠ
●1月22日(水)～2月 2日(日)	Healing ceramics クラフトギャラリーⅠ
●1月22日(水)～3月 1日(日)	桃宴 クラフトギャラリーⅡ
笠間民芸	0296-72-9280
かつら陶芸	0296-72-6688
ギャラリー桜	0296-72-0803
ギャラリー爽風SOHO	0296-72-9121
ギャラリー舞台	0296-73-0700
●10月 5日(土)～10月20日(日)	小山義則展
●12月 7日(土)～12月25日(水)	Mt.Appatoppa 安藤子由利・小松弦太二人展
●1月 2日(木)～1月19日(日)	町田幸展
共販センター	0296-72-5665
きらら館	0296-72-3109
●10月29日(火)～11月10日(日)	大崎透 作陶展「陶の動物園'19」

- 11月12日(火)～11月24日(日) 陶工房「雲」中島健蔵 作陶展
- 11月26日(火)～12月 8日(日) 西村俊彦 作陶展
- 12月10日(火)～12月15日(日) 茂野俊也 作陶展
- 1月 1日(水)～1月 9日(木) 陶雛展(ギャラリーー展示終了後3月3日まで 店内コーナー展示予定)
- 1月11日(土)～1月26日(日) 杉本遊炫・ちひろ 夫妻展

グランパとグランマのお店	0296-71-8077
向山窯	0296-72-0194
丹野陶房	0296-72-4028
陶芸館	0296-72-6650
陶正	0296-72-4007
東風舎	0296-72-5205
無限堂	0296-72-1695
やまさき陶苑	0296-72-6865
涼	0296-72-0712
ミュージアムショップ(館内)	0296-72-7105
レストラン「風の丘」(館内)	0296-72-0197

各店舗で買い物をされる際、会員証を提示していただくと、陶器が10%割引となります。(一部除外品があります。)笠間工芸の丘は体験のみ対象です。
 グランパとグランマのお店は、食事セットメニューが5%引き、レストラン「風の丘」は飲み物サービスとなります。

会 員 募 集

茨城県陶芸美術館友の会では、随時会員を募集しています。
 年会費3,000円(夫婦会員は2人で5,000円)

- 特典1 常設展が、何度でも無料観覧できます。
- 特典2 企画展が年2回まで無料で観覧できます。
- 特典3 会報の無料配付(年3回)を受けられます。
- 特典3 特約店において、陶磁器等の割引が受けられます。
- 特典4 友の会主催の各種事業に参加できます。

お問合せは茨城県陶芸美術館友の会事務局までお願いします。
 茨城県陶芸美術館友の会事務局(茨城県陶芸美術館内)
 電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012

編 集 後 記

天候不順の夏が過ぎ、ゆっくりと秋へと季節が進んでおります。美術館の催し物は9月から企画展「いきもの狂騒曲」生き物をモチーフにした陶芸フィギュア。1月から「エミール・ガレの陶芸」ガレの陶芸コレクションと続きます。どうぞ皆様美術館に足をお運び下さい。(久野 守代 記)

友の会だより No.59

発行: 令和元年10月1日
 編集・発行: 茨城県陶芸美術館友の会
 〒309-1611 笠間市笠間2345
 電話 0296-70-0011 FAX 0296-70-0012
 編集委員: 小葉 和子 福家 佳奈 久野 守代
 鈴木 充